

# 円環する教育のコラボレーション

2013年

## 目 次

■序章 子どもの生命性と有能性を育てるために —「コラボレーション」という枢軸をたよりとして	桑原知子	9
はじめに		
1 教育実践コラボレーション・センターについて		
2 コラボレーションセンターの「成果」		
3 本報告書の「サイトマップ」		
■ 1 生命性と有能性の教育に向けて	矢野智司	15
1 子どもに生命性を生み出す体験		
2 有用な社会性を生み出すメディアと深い生命の体験を生み出すメディア		
(1) 種に固有の環境世界を生きる動物たち		
(2) 体験を生み出すメディアとしての道具		
(3) 労働の重要性とその問題		
(4) 体験を生み出すメディア		
3 子どもにへ体験と体験を生み出すメディア		
4 鉄棒運動における生成と発達		
(1) 鉄棒の感動		
(2) もうひとつの鉄棒詩		
5 教育における体験と体験の貧困		
■ 2 「確かな学力」考	田中耕治	29
はじめに		
1 「学力低下論争」の推移		
2 「PISA 型読解力」の様相		
2-1 PISA 型読解力とは何か		
(1) PISA の規定		
(2) 文部科学省の受容		
2-2 PISA 型読解力の位置づけについて		
(1) PISA 型読解力と学力モデル		

(2) PISA 型読解力と教育評価論

- 3 学力観の転換 — 「新しい学力」観から「確かな学力」観へ
- 4 「確かな学力」観の検討

■ 3 教員研修のあり方を探る—E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修の試み

西岡加名恵 45

はじめに

- 1 教員研修の様々な場
  - (1) 教育行政による研修
  - (2) 校内研修
  - (3) 民間教育研究運動
- 2 E.FORUM の試み
  - (1) 多彩な研修内容と、実践への活用を促す仕組み
  - (2) 参加者間の交流と、継続的な研究開発を促す取り組み
  - (3) 「カリキュラム設計データベース (CDDB)」と会員制度

おわりに

■ 4 韓国における教育評価改革の変遷

趙 卿我 59

はじめに

- 1 「学科試験」をめぐる模索 —1945 年から 1949 年まで
  - (1) 終戦直後の教育改革
  - (2) 入学試験をめぐる動向
- 2 測定中心の理論と実践の展開 —1950 年から 1972 年まで
  - (1) 教育評価理論と「国家連合考査制度」
  - (2) 「無試験進学制度」と「高校平準化教育政策」の試行
- 3 教育評価研究の多様化と発展 —1973 年から現在に至るまで
  - (1) 教育評価の転換
  - (2) 遂行評価に関する教育改革

まとめと今後の課題

【コラム 1】 批判的思考教育の円環的コラボレーションを進めるために

楠見 孝 73

【コラム 2】 フィールドで研究することの困難と快楽

石井英真 75

【コラム3】領域を超えて改めて得る学び

赤沢真世 76

【コラム4】教育実践コラボレーション・センターにおける一大学院生の成長

大下卓司 78

■ 5 ジェネレイショナル・サイクル—先行世代との円環・後続世代との円環

西平 直 80

- 1 ジェネレイショナル・サイクルとは何か
  - 2 ジェネラティヴィティー—ジェネレイショナル・サイクルの中のジェネラティヴィティー
    - (1) 「育てる」場面で体験されるジェネラティヴィティーの危機
    - (2) 「手放す」場面で体験されるジェネラティヴィティーの危機
  - 3 エリクソンが語らなかったこと—「看取る—看取られる」の連鎖
  - 4 世代間倫理とジェネレイショナル・サイクル
  - 5 子育て・教育・介護・供養—ジェネレイショナル・サイクルの大きな織物の中で
- おわりに

■ 6 食卓の崩壊という幻想

大山泰宏 93

はじめに

- 1 食の崩壊という論陣
  - (1) 食の崩壊論
  - (2) 食の崩壊論の前提への疑い
- 2 食卓での家族の団欒は本当に存在していたのか
  - (1) 『サザエさん』の虚構
  - (2) 食卓の移り変わり
- 3 伝統的な食事の内容という虚構
  - (1) 山間部を中心とした食の貧困さ
  - (2) 都市部での食
- 4 諸外国の家庭の食
  - (1) 日本の食卓の国際的な位置づけ
  - (2) 東アジア圏の食卓文化
  - (3) 家族揃っての食事に託される儀礼性

## ■ 7 「いなか」をとり戻す—野殿・童仙房という「教育空間」

吉田正純 108

- 1 「生命性」という下向きの矢印
- 2 「共に学ぶ様式」に向けて—「風と雲の広場」から
  - (1) 互酬的な学習空間づくり
  - (2) 双方向的・体験的な教育空間
  - (3) 偶然性と失敗を排除しない空間
- 3 「持ち寄り型の知」—「野童いなか塾」から
  - (1) 学習資源としての人々のワザと記憶の掘り起こし
  - (2) 「大学の知」とフィールドの関係
- 4 「地域教育空間」の再創造のために

## ■ 8 「祭り」という文化伝承・継承空間

渡邊洋子 120

- 1 東日本大震災と「祭り」
- 2 「祭り」という空間
  - (1) 「ハレ」の場としての祭り—民俗学のアプローチ
  - (2) 「祭り」の位置づけと担い手—文化財保護と地域活性化の間で
    - ①文化財保護法と文化庁の動向
    - ②「地域活性化」政策としての「伝統文化活用」
- 3 「住民の主体的営為」としての伝承活動への注目—祭りはだれのものか
- 4 祭りの人間形成的側面—インフォーマルな学びとして
  - (1) 祭りの場面展開と形成的作用
    - ①「祭りに向けて」
    - ②「祭りの中で」
    - ③「祭りを通して」
  - (2) 祭りにおける自己／相互形成の学び
- 5 むすびに代えて

### 【コラム5】学校臨床研究会における「お悩み相談」の意義

宮嶋由布 132

### 【コラム6】食といのちと生活—つながりが見えてくること

安川由貴子 133

### 【コラム7】問われる空間

猿山隆子 135

【コラム8】 定点インタビュー

辻 喜代司 137

## 執筆者（執筆順）

桑原知子（本学大学院教育学研究科教授／教育実践コラボレーション・センター長）  
矢野智司（本学大学院教育学研究科教授）  
田中耕治（本学大学院教育学研究科教授）  
西岡加名恵（本学大学院教育学研究科准教授）  
趙卿我（本学大学院教育学研究科博士後期課程）  
楠見孝（本学大学院教育学研究科教授）  
石井英真（本学大学院教育学研究科准教授）  
赤沢真世（立命館大学スポーツ健康科学部准教授）  
大下卓司（本学大学院教育学研究科博士後期課程／日本学術振興会特別研究員）  
西平直（本学大学院教育学研究科教授）  
大山泰宏（本学大学院教育学研究科准教授）  
吉田正純（本学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター研究員）  
渡邊洋子（本学大学院教育学研究科准教授）  
宮嶋由布（本学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター助教）  
安川由貴子（京都聖母女学院短期大学児童教育学科講師）  
猿山隆子（本学大学院教育学研究科博士後期課程）  
辻喜代司（梅花女子大学非常勤講師）

---

2013年3月29日 印刷発行

## 円環する教育のコラボレーション

編集 京都大学大学院教育学研究科  
教育実践コラボレーション・センター 総括報告書編集事務局  
(同センター研究員一同 代表担当：小林伸行)

発行 京都大学大学院教育学研究科  
教育実践コラボレーション・センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学教育学研究科内

印刷 株式会社 北斗プリント社 (075)791-6125

---